

平成 30 年第 4 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 8 月 30 日 (31 日・9 月 3 日)

	質問者	質問項目 (答弁者)
1	天羽 良明 (誠颯会)	<p>1. <u>ため池の災害リスクの現状と課題 (建設部長)</u>  <u>一問一答方式</u>                      集中豪雨と直下型地震を想定した地域水害対策における「ため池」の災害リスクの現状と今後の課題について</p>
2	高木 将延 (会派きずな)	<p>1. <u>熱中症対策について (市民部長・福祉部長・こども健康部長・建設部長・教育委員会事務局長)</u>  <u>一問一答方式</u>                      今夏は記録的な猛暑で、全国的に熱中症による緊急搬送者数が増加した。本市における熱中症への対応は出来ているか、現状と今後の対策について問う。</p>
3	川合 敏己 (会派きずな)	<p>1. <u>東美濃ナンバーの導入に関するアンケートについて (市長・企画部長)</u>  <u>一括答弁方式</u>                      東美濃ナンバー実現協議会が再度の東美濃ナンバーに関する住民アンケートを実施する。その結果を見据え、本市はナンバー導入への判断をどのようにするのか。またナンバー導入如何によってどのような影響があるのか。</p>
4	川上 文浩 (誠颯会)	<p>1. <u>地域経済発展のための産業振興と人材育成、地域振興策について (観光経済部長)</u>  <u>一問一答方式</u>                      市では「地域・経済の元気づくり」を重点方針とし様々な事業を展開しているが、その効果と今後の方向性について問う。</p> <p>2. <u>(仮称) ボートレースチケットショップ可児について (企画部長)</u>  <u>一括答弁方式</u>                      広見地内 (鳥屋場自治会内) にボートレースチケットショップの建設計画が持ち上がった。市としてどう考えるか。</p> <p>3. <u>平成 30 年 7 月豪雨について (総務部長・建設部長)</u>  <u>一括答弁方式</u>                      平成 30 年 7 月豪雨は西日本各地で甚大な被害をもたらした。今回の豪雨から学ぶべきことが沢山あると思うが、今後どう生かしていくか。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
5	富田 牧子 （日本共産 党可児市議 団）	<p>1. <u>人権が大切にされる世の中に（教育長・市民部担当部長・福祉部長）</u>  <input type="checkbox"/> 一問一答方式</p> <p>LGBTや女性、障がい者等社会的弱者への差別発言が政府や国会議員から繰り返される現状を憂う。多岐に渡る人権問題について、市の施策を問う。</p>
6	田原 理香 （会派きず な）	<p>1. <u>「地域課題解決」の拠点としての地区センターのあり方について（市民部長）</u>  <input type="checkbox"/> 一問一答方式</p> <p>今年度より公民館が地区センターとなり、地域の課題解決の拠点としての役割を担うことになった。課題解決に向けた仕組みづくりや地域での人材育成などが必要である。市は如何に関わっていくのか具体的な方策を問う。</p>
7	山田 喜弘 （可児市議 会公明党）	<p>1. <u>学校給食費の徴収にコンビニ収納の導入を（教育委員会事務局長）</u>  <input type="checkbox"/> 一括答弁方式</p> <p>学校給食費の徴収事務及びコンビニ収納導入に対する見解並びに改正食品衛生法の学校給食に対する影響と対応について問う。</p> <p>2. <u>学校のICT環境整備の加速化を（教育長）</u>  <input type="checkbox"/> 一括答弁方式</p> <p>学校のICT環境整備の加速化とそのため文部科学省の整備方針を踏まえた本市の整備方針と財源確保について見解を問う。</p>
8	板津 博之 （会派きず な）	<p>1. <u>同報系防災行政無線による火災放送中止について（総務部長）</u>  <input type="checkbox"/> 一問一答方式</p> <p>同報系防災行政無線を利用した火災放送は、平成30年度末をもって放送を中止することが決定した。平成31年度以降に火災が発生した場合の消防団参集体制などについて問う。</p>
9	渡辺 仁美 （市民の 声）	<p>1. <u>サステナ観光に必要な広報戦略について（企画部長）</u>  <input type="checkbox"/> 一括答弁方式</p> <p>本来、持続可能で発展性のある観光はまちづくりや人口減少から生じる課題等の解決に助けとなる。観光振興を進めてきた本市に具体的な観光戦略についてお尋ねし、提言をするものである。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
10	山根 一男 （市民の声）	<p><u>1.大規模災害時の支援物資供給体制は（総務部長）</u>  <u>一問一答方式</u>  大規模災害時、応援協定に基づく食料・物資は、一時物流拠点となる「可児ッテ」に集積しその後帷子・桜ヶ丘地区センター、福祉センターを経由して各避難所に届くことになっているが、現実に運用できるのか。</p> <p><u>2.岐阜医療科学大学の受け入れ態勢はできているか（企画部長）</u>  <u>一問一答方式</u>  来年3月の岐阜医療科学大学の可児キャンパスオープンまで6ヶ月あまりとなった。初年度は二百数十名の学生や教員が可児市での生活をスタートする。市として地域としてその受け入れ態勢はできているか。</p>
11	伊藤 健二 （日本共産党 可児市議団）	<p><u>1.災害対策と水道事業の今後を（水道部長）</u>  <u>一括答弁方式</u>  生命インフラと呼ばれる公営水道事業にて今回、「広域的な水源利用」＝「県営用水の強み」を立証したが民間経営化の風潮も出てきた。市直営の水道事業の今後の姿を問う。</p> <p><u>2.可児市防災対策の認識改善を（総務部長）</u>  <u>一括答弁方式</u>  極端な異常気象が連続している。これまでの常識や、想定を超える事態に対して、認識の共有が必要だ。直下型の地震災害、多様要因の豪雨災害と行政避難対策、自助・互助体制の再構築が必要ではないか。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。